

【日本農業新聞 2016年3月22日付～3月28日付の紙面から】108回目

<コメント>

衆院は、TPP承認案と関連法案を審議する特別委員会の設置を決めた。だが、就任したばかりの西川公也委員長は早期の衆院通過を言い出し、野党の反発を招いている。県が行うTPP影響試算は、政府よりも厳しい予測が多く、農家の不安を掻き立てる。特別委では、まずTPP協定内容を全面開示させ、農業はじめ国民各層にどう影響するか検証し、その上で国会決議との整合性や承認の適否を判断すべきだ。“国家百年の計”が問われる局面であり、審議には十分時間をかける必要がある。

<概要>

■ TPP 発効 米国の認証を懸念／国会審議影響も 追加要求拭えず

【3月22日付2面】

TPP発効前に、米国の要請で追加の法改正を余儀なくされるのでは――。TPPの国会審議を前に、こんな懸念が生じている。政府は、今国会にTPP承認案と11の関連法案を提出し一括審議を求めているが、民主党は「追加の国内措置がないことが確認できなければ、審議に入れない」と反発している。米国では、TPP不支持の動きが広がっており、米政府が議会や支持者の説得へ、他国に新たな国内措置を迫る恐れが強まっている。

■ TPP 農林水産物17億円減／福井県が影響試算 米への打撃が最大

【3月23日付2面】

福井県は22日、TPPによる同県農林水産物への影響試算をまとめた。農林水産物の生産減少額は16億5000万円～17億3000万円と試算。米への影響が最も大きく、国内に安価な輸入米が流通することで生産額が15億2000万円減少すると見込んだ。福井市で開いた「ふくい農業基本計画推進会議」で示した。試算は、米や大麦、牛肉など15品目を対象に行った。

■ TPP特委 あす設置 審議日程「綱渡り」／サミット、参院選控え 委員長に西川氏

【3月23日付3面】

与野党は22日、TPPの承認案と関連法案を審議する特別委員会を24日に設置すると決めた。委員数は45人規模とする。委員長には自民党の西川公也農林水産戦略調査会長が就任する。ただ実質的な審議入りは4月になってからの見通し。日程はタイトで、「綱渡り」とみられている。22日の衆院議院運営委員会の理事会で与野党が合意した。24日の衆院本会議で議決し、自民、民主、維新、公明、共産など、各党議員が所属する。

■ 政府「追加立法は不要」／関連法案で答弁書閣議決定 米国からの要求否定

【3月23日付3面】

政府は22日、今国会に提出したTPP関連11法案について「TPPに規定する義務を履行するため必要かつ十分な内容であり、追加的な立法措置は不要」とする答弁書を閣議決定した。法案成立後に、米国から要求されて、一層の法改正を行うのではないかとの懸

念が出ていたが、明確に否定した。民主党の緒方林太郎氏（衆・比例九州）が 14 日に提出した質問趣意書に対する回答。

■衆院 TPP特別委 設置／審議入り実質 4 月 与野党が激突

【3月25日付1面】

衆院は 24 日の本会議で、TPPの承認案や関連法案を集中的に審議する特別委員会の設置を議決した。政府・与党は今国会での承認を目指す考え。ただ、農業者らの不安が依然大きい中、特別委での実質審議入りは 4 月で日程に余裕はなく、どこまで審議を尽くせるかが大きな焦点。夏の参院選もにらみ、与野党が激しくぶつかる。正式名称は「環太平洋パートナーシップ協定等に関する特別委員会」で委員数は 45 人。

■TPPに負けるな、改革実践…JA応援歌／頑張れNOKYO!／JA前橋市理事 山口栄一さん CD発売へ

【3月25日付社会面】

TPP合意に立ち向かい、農協改革に取り組むJAを応援したいと、群馬県のJA前橋市の理事を務める山口栄一さん（65）がオリジナルソングを作った。その名は「NOKYO」。キュウリ栽培の傍ら、作詞作曲に励んだ。「N・O・K・Y・O!」の掛け声とともに始まり、手を広げてアルファベットを表現する振り付けも加えた。会場が一体となって盛り上がる曲に仕上がったという。4月にはCDを発売する計画だ。

■TPP 審議入り、来月 5 日／衆院予算採決ずれ込み 日程さらに余裕なく

【3月26日付3面】

TPP承認案と関連法案の衆院での審議入りが、4月5日の本会議になることが固まった。参院での 2016 年度予算案の採決が 29 日にずれ込む影響だ。政府・与党の当初の想定より 1 週間遅れとなり、審議日程はさらに窮屈になりそうだ。政府・与党は当初、29 日の衆院本会議での審議入りを目指していた。だが、自民、民主両党の参院国対委員長が 25 日の会談で、16 年度予算案を 29 日の参院予算委員会と本会議で採決することに合意した。

■「TPP関連法案 早期の衆院通過」／西川委員長発言に野党反発

【3月26日付3面】

TPP承認案と関連法案の審議入りを前に、衆院TPP特別委員会の西川委員長が、早期の衆院通過を目指す考えを示したことに、野党が反発している。TPP特別委員会は 24 日に設置され、西川氏を委員長に選出。西川氏は就任直後、記者団に「私どもは一生懸命、努力して早期の成立、通過を図っていきたい」と語った。これに野党は「公平・中立であるべき委員長の発言として看過できない」と、西川氏の謝罪を求めているもようだ。

■29日に予算成立 後半国会TPP焦点

【3月27日付3面】

2016 年度予算案は 29 日の参院本会議で与党の賛成多数により可決、成立する。後半国

会の焦点となるTPP関連法案は来月5日に審議入りする方向だ。与党は4月中に衆院を通過させ、今国会成立に向けて審議を急ぐ。野党は交渉過程の情報開示を含め徹底審議を求める。TPP承認案件と関連法案の審議入りが4月5日となるのは、安倍晋三首相が3月30日から4月3日まで訪米するためだ。

■民進党 政権交代めざし船出／TPP 特別委で政府追及

【3月28日付1面】

民主党と維新の党が合流した新党「民進党」の結党大会が27日、東京都内であった。衆参両院合わせて156人の勢力となる。衆参両院合わせて156人の勢力となる。初代代表に岡田克也民主党代表が就任し「日本に政権交代可能な政治を実現するためのラストチャンスだ」と政権奪取への意気込みを語った。後半国会の最大の争点となるTPPについて、政府を厳しく追及する考えを示した。

以上